

かさねの色目の花あそび No.38

【色目】 黄紅葉 <表：黄 裏：濃黄>



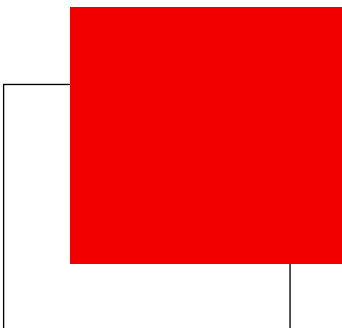
カエデが黄色に色づいたところを表した色目。万葉集に「わが屋戸に黄変（もみ）つ鶏冠木（かえるで）見るごとに妹を懸けつつ恋ひぬ日は無し」と詠まれているそうだ。真赤に色づく楓より、黄色に色づく楓の方がひそやかで奥ゆかしくもある。

花あそびは、オンシジュームとガーベラ。ともに洋花であることもあり、黄色のオンシジュームは色目の黄より明るくクリア過ぎるし、オレンジに近いガーベラは色目の濃黄よりも赤みがかっていて、重たく感じる色のように思うが、あしからず。



かさねの色目の花あそび No.39

【色目】 紅薄様 <表：紅 裏：白>



紅薄様（くれないのうすよう）とは、普通は、紅色の薄手の鳥の子紙、つまり和紙のこと。かさねの色目では襲の衣の上から下へ紅をしだいに薄くし、下の2枚を白としたものらしい。紅薄様という言葉の響きはとても儂げで、情緒がある。

それに、赤から白へのグラデーションなんて、少女のような可憐さも感じる。

花あそびは、赤いガーベラとホワイトスター。あっさりした取り合わせであるため、味気なさを覚えるかもしれない。

